



マイシティモバラ

このコーナーでは、市内のできごとを写真と文章でお知らせします。

4/17 視覚障がいがあっても一人で歩く きっかけづくりを目指して

Google Project Guideline 歩く・散歩の体験会in茂原

総合市民センターにて、パラスポーツ茂原の主催により「Google Project Guideline 歩く・散歩の体験会in茂原」が開催されました。これは、腰に装着したスマートフォンがAIにより地面のガイドラインを認識し、音声で進行方向を案内する機能を体感できるもの。

視覚障がいのある方が一人で歩けた瞬間は、本人だけではなく、見守る参加者からも拍手と笑顔が広がりました。



▲AIが地面に引かれた色の付いた線を見分けて誘導します



▲新人職員も頑張りました！

4/24 水害に備える 市職員による土のうづくり

市では、浸水被害等に備えるため、都市建設部の職員を中心に土のうを作成しました。今年も災害に対する意識および技術の向上を目的に、職員研修の一環として新規採用職員26人が参加しました。

肌寒い天気の中、職員たちは、汗を流しながら「災害に役立てられれば」と2,500袋を作成しました。これにより、市では今年度、全部で19,800袋の土のうを備えています。

5/5 スポーツを通じて地域の 親睦、友和、交流を深める

第40回茂原市本納地区ソフトボール大会

茂原北陵高等学校のグラウンドにて、第40回茂原市本納地区ソフトボール大会が開催されました。本大会は、茂原市本納球友会が本納地区の地域住民の親睦、友和、交流を深めることを目的に主催している毎年恒例の一大行事。

今年は40回目を迎える記念すべき節目の大会となり、会場は大きな盛り上がりを見せました。当日は晴天にも恵まれ、選手たちは白熱したプレーを展開。どの試合も熱戦が繰り広げられ、応援に駆け付けた家族や地域住民からも大きな声援が送られました。



▲県内強豪校ソフトボール部出身の女性バッテリーが大活躍



▲贈呈式に「ぼすくま」も登場！

5/11 絵本でつながる地域の輪 市内郵便局による絵本贈呈式

郵便局から、市内の小学校や保育施設、図書施設へ「ぼすくま絵本シリーズ」が寄贈されました。これは、郵便局を身近に感じてもらうとともに手紙を書く楽しさや人とのつながりの大切さを伝える内容となっています。

寄贈された絵本は、子どもたちが手紙文化への親しみや地域との交流について学ぶ一助となります。